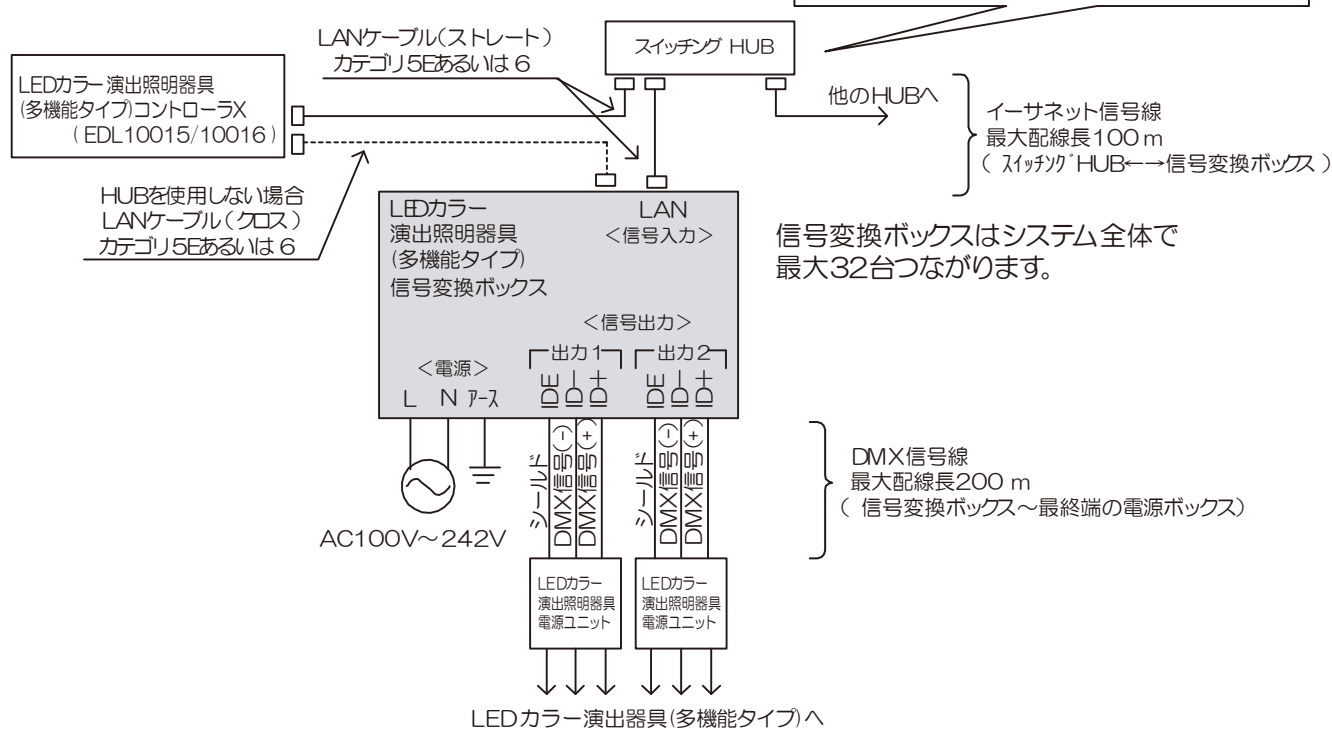


【 結線図】

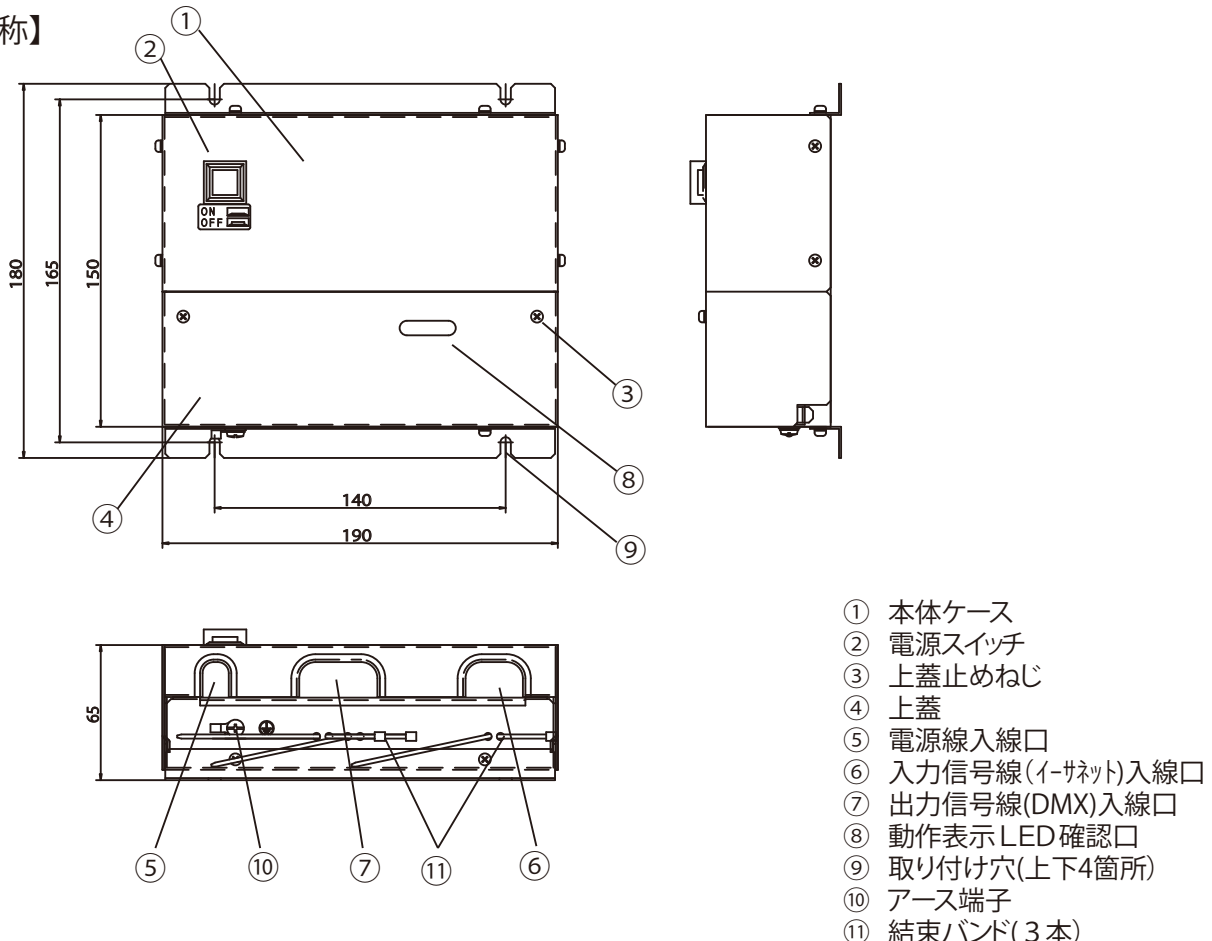
本器は、弊社LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)コントローラ専用および電源ボックス専用のものです。全体のシステムの結線は下の図ようになります。



【 施工前のご確認事項】

- ① 取り付け場所
 - 周囲温度0~40℃・湿度35~85%RH(結露なき事)の室内に設置してください。
 - また、以下の場所への設置はおやめください。
 - ・直射日光が当たったり、極端に温度変化の激しい場所
 - ・塵埃の多い場所
 - ・テレビ、スピーカ、モータのような強い電磁界が発生する機器に隣接した場所
 - ・電源分電盤、動力盤、調光盤などの中あるいは隣接した場所
 - ・プールなど塩素の影響を受けやすい場所
 - ・その他有害ガス等の影響を受けやすい場所
 - ・日常メンテナンスができない場所
- ② 取り付けスペース
 - 放熱のために本器のまわりにスペースを設けるようにしてください。
- ③ 取り付け方向
 - 正しい方向で取り付けをおこなってください。
 - 本器正面から見て上側

【 機器の名称】



【 施工のしかた】

- (1) 本器を上下4箇所の取り付け穴⑨を使って壁にねじ止めします。
 - ねじ(M4)(4箇所止め)
- (2) 次に本体ケース下部の上蓋④をはずします。
 - 両側のねじ③をはずします。
- (3) アース端子⑩をはずします。
 - アース端子は、かしめ端子とビスで構成されていますので、かしめ端子を取り出します。
- (4) かしめ端子に電源線のアース線をかします。
 - 端子ねじ M3.5×8 (推奨締めトルク: 1.0~1.3N・m)
- (5) アース端子を取り付けます。
- (6) 次に電源線を接続します。
 - ＜適合電線＞ AC100V~242V ----- 1.25mm²~2mm²×3C
 - 電源線は端子台に接続します。
- (7) DMX信号線を接続します。
 - ＜適合電線＞ EM-IPEE-SB 0.3mm²あるいは0.5mm²×2Pr (うち1Prは予備)
 - 注意！ 信号線は適合電線をお使い下さい。適合外の信号線では正常に信号の伝送ができない可能性があります。
 - 信号線の被覆をむきます。電線被覆むきしろ 9mm
 - DMX信号線(電源ボックスとの接続)を信号端子台に接続します。
 - マイナスイドライバーなどで信号端子台のボタン部を押しながら信号線を差込みます。
 - 出力1 DE ID+ ID- DE ID+ ID- 出力2
 - シールド線 D+ D- ここを押します
 - 信号線(DMX信号出力)
 - 系統1
 - 注意！ ケーブルを引っ張って、容易に端子台から外れないことを確認してください。
- (8) 最後にイーサネット 信号線を接続します。
 - LANケーブルをLANコネクタに接続します。(カチッと音がするまで確実に差し込んでください。)
 - ＜適合LANケーブル＞ カテゴリー5Eあるいはカテゴリ6
 - ・HUBと接続の場合: ストレーツ
 - ・コントローラXと直接接続の場合: クロス
 - ＜適合プラグ＞ RJ-45モジュラプラグ
 - 注意！ RJ-45モジュラプラグをかきしめ工事をする場合はピン配列などの間違いのないよう確認の上おこなってください。
- (9) 信号線(LANケーブル、DMX信号線)を結束バンド⑪で固定します。
 - 入力信号線(イーサネット)、出力信号線(DMX)を別々に結束バンドで本器にしぼりつけます。
 - 注意！ ケーブルを引っ張って、張力が不要にコネクタや端子台にかかっていないことを確認してください。

(1) 系統2がある場合は同様にして 出力2 に接続します。

施工調整を行う前に

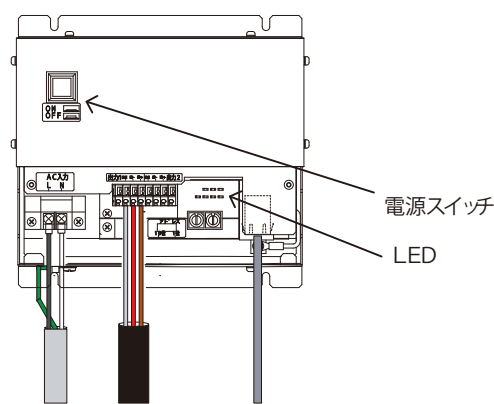
本器の調整項目は本器内部のID設定スイッチの設定のみですが、IDを設定する前に以下の項目を必ずご確認ください。

- 各機器のIDの値は、演出データ作成ソフトのアドレス設定時の機器No.に対応しています。予め確認の上、設定値を決めておいてください。
- IDの値が正しく設定されたかどうかをコントローラXとつながっている状態で確認をします。あらかじめコントローラX（あるいはHUB）の施工を完了させておいてください。

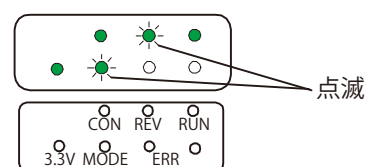
* 電源ボックスおよびLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具との接続を確認するだけの場合は本器単独でも可能です。

【施工調整のしかた】

① 電源を入れる



- (ア) 本器正面にある電源スイッチのカバーを開けてスイッチを押してください。
- (イ) 電源が入ると、LED（緑色）の状態を確認します。

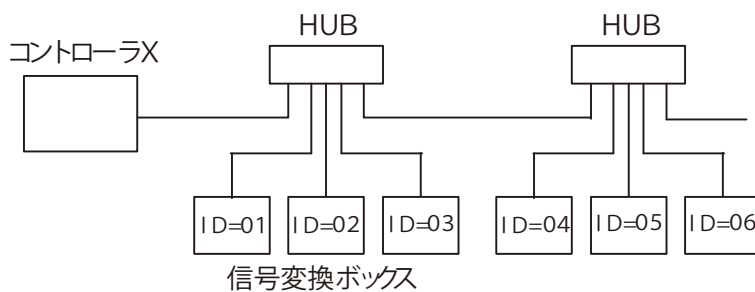


上段の3個のLEDと下段の2個のLEDが点灯あるいは点滅します。

信号名	意味
CON	LANケーブルがつかないと点灯します。
REV	演出データを受けたら点滅します。
RUN	LAN回路に異常がなければ点灯します。
3.3V	電源スイッチが入れば点灯します。
MODE	内部回路に異常がなければ点滅します。
ERR(左)	LAN通信に異常が発生したら点灯します。
ERR(右)	ID値を認識できない場合点灯します。

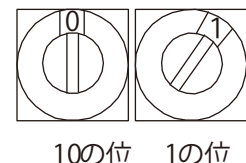
② IDを設定する

信号変換ボックスは最大32台、コントローラXとつながりますが、コントローラX側から各々の信号変換ボックスを認識する必要があります。そのために、信号変換ボックスに固有のIDを設定します。以下、設定のしかたについて説明をします。



- (ア) ID設定用のロータリスイッチを設定したいIDに合わせます。

ID=01に設定する場合



留意事項

- IDは01から順番に設定することを推奨します。
- IDの設定は重複することはできません。
- IDの値が設定可能値以外(00、33~88)の場合はシステム上不合理が生じないように強制的に01と認識されます。
- ID=89の設定をすると工場出荷時の検査モードになりますので設定をしないようにしてください。

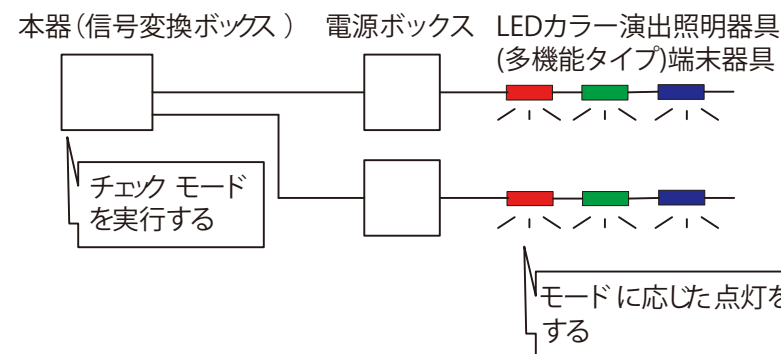
(イ) 電源の再起動します。(電源スイッチを切って、再度入れます。)

(ウ) コントローラXがIDを変更した信号変換ボックスを自動的に認識します。(最大2分程度かかる場合もあります。)

以上でIDの設定は完了です。

【電源ボックスやLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具のチェックの仕方】

本器の持つチェックモード機能を使って、本器に接続される電源ボックスやLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の点灯制御状態を確認することができます。



(チェックモードの使い方)

(ア) 本器の電源が入っている状態でID設定スイッチを下表のように設定します。

ID設定スイッチの設定値	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)対応器具の点灯方法
90	全器具全色 フル点灯
95~99	
91	全器具が赤色フル点灯
92	全器具が緑色フル点灯
93	全器具が青色フル点灯
94	器具は1台目は赤色、2台目緑色、3台目青色...の順でRGBの各色フル点灯を連続する。

(イ) 本器に接続された電源ボックスのLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具が設定された表示方法で点灯をします。

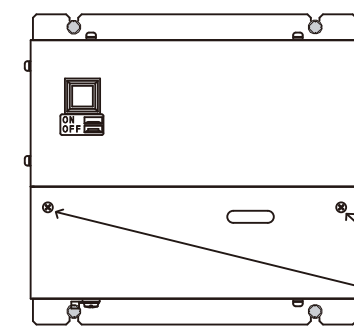
(ウ) 表示を変える場合はID設定スイッチの値を変えます。

(エ) チェックが終了したら、IDを元の値に戻します。

(オ) 電源の再起動をおこないます。(電源スイッチを切って、再度入れます。)

施工調整が完了したら

本体ケース下部の上蓋④を取り付けます。



ねじ③を取り付けます。

注意!
上蓋は必ず取り付けてください。上蓋を取り付けずに使用すると感電、故障の原因になります。上蓋は電源線、信号線が各入線口を通るよう取り付けてください。

【本器の取り扱いについて】

安全に関するご注意 ~お客様へ~

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

警告	
● 本器のケースをぬれた手でさわったり、本器に水をかけたりしないでください。感電や火災・故障の原因になります。	● 改造をしないでください。
	● 専門技術者以外は、カバー(上蓋)を外さないでください。火災・故障の原因となります。

注意	
● 商品には寿命があります。ご使用になって10年が経過しますと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検あるいは交換をしてください。	
・ 周囲温度が高い場合、演出時間が長い場合などは寿命が短くなる場合があります。	
・ 点検をせずに長期間お使い続けると、万一、火災や感電等に至る可能性もあります。	
なお、1年に1回は添付の安全チェックシートで自主点検を実施していただき、定期的(3年に1回を推奨)に工事店など専門家による点検をお受けください。	

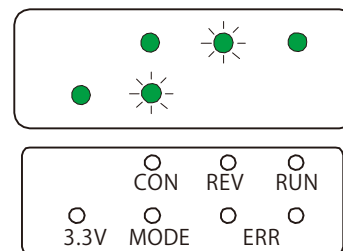
本器の機器仕様

項目	仕様	
入力	100BASE-TX(RJ-45)×1(汎用スイッチングHUBと接続)	
出力	DMX出力 2系統(端子台接続)	
取り付け方法	壁付け型(屋内)	
機能	動作表示LED	通電(G)、モード(G)、異常×2(R) 計4個
	LAN動作表示LED	コネクタ接続(G)、信号入力(G)、内部チェック(G) 計3個
	設定SW	IDの設定(01~32) 計2個
形状	190×180×65 (W×H×D mm)	
ケース材質	SECC t1.0	
塗装色	白色(DA75)	
電源電圧	AC100V~242V(±10%) 50/60Hz 自動切換え(ボルトフリー)	
消費電力	15W 以下	
重量	約1.5kg	
使用環境	周囲温度 0~40℃ 35~85%RH(結露しないこと)	

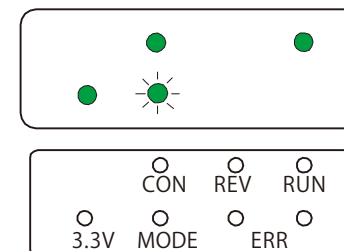
動作表示LEDについて

動作状態は動作表示LED確認口から確認することができます。各LEDの状態は次の通りになります。

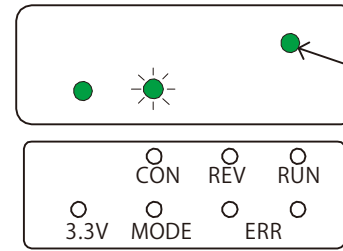
○ 正常なとき(演出中)



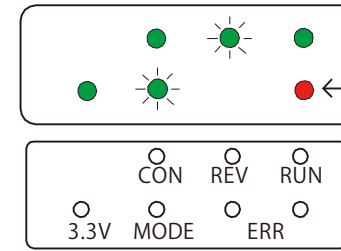
○ 正常なとき(メンテナンス中)



● 異常なとき



上段はRUNだけが点灯



ERR(右)が点灯

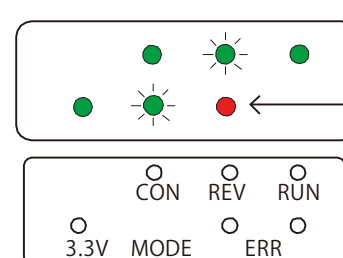
推定原因

- LANケーブルがはずれている。
- HUBの電源が入っていない。
- コントローラXの電源が入っていない。

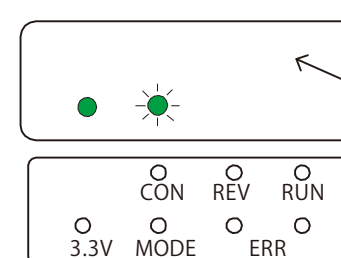
推定原因

- IDの変更をした後、電源再起動をしていない。

このような症状が出たら、弊社サービスにご連絡ください。



ERR(左)が点灯



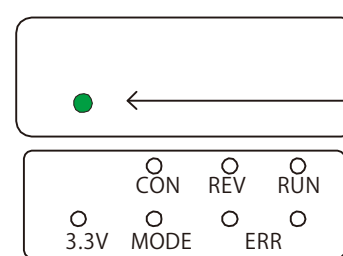
上段は何も点灯しない

推定原因

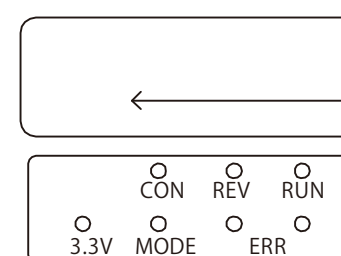
- イーサネットの通信上で不具合が発生した。

推定原因

- LAN回路の故障が発生した。



3.3V以外は点灯しない



何も点灯しない

推定原因

- 内部回路基板の故障が発生した。

推定原因

- 内部の電源に故障が発生した。
- * AC電源が供給されていない場合も考えられます。